

株式会社ジェイコムイースト 横浜テレビ局

第23回 2018年度 放送番組審議会 議事録

2018年度の放送番組審議会は、2019年3月6日(水)に横浜で開催された。

<放送番組審議会委員> (五十音順)

—ご出席—

工藤 誠一 様	嶋田 昌子 様	土屋 広次郎 様
中村 牧 様	三浦 順治 様	山崎 洋子 様
六川 勝仁 様		

事業者側から局の現況、及びJ:COMチャンネル(11ch)とJ:COMテレビ(10ch)について報告があった。

【質疑応答・意見交換】(三浦会長による進行)

◆ローカル番組について

委員 こども会議は大変良い番組だと思う。テーマも良く絞られ子供の素直な意見が出ていて参考になる。

地域の情報については、どういうルートで情報を獲得しているのか。

馬車道界隈の馬車道マリナード伊勢崎町BMIというところで、港へ続く一本道の強化をして行こうとストリートピアノを置いていて凄く評判になっている。

また、パーティーバイクという企画考えており、6~8人ほど乗れる自転車でテーブルもあり、お酒を飲みながら移動し観光出来るような事を考えている。

このような地域の細かい情報をどうすれば取り上げてくれるのか。

事業者 情報については、提供されるものと探すものと分かれる。提供されるものはメールやホームページ等からの意見、また地域プロデューサーなどさまざまなルートから情報を収集している。

探し出すものとしては新聞やミニコミ誌、ホームページやチラシなどこちらもさまざまな情報網を利用して探している。

その情報の中から精査していくので情報は何でもいただければと思う。

委員 ビデオの中で外国籍の子供たちとの交流場面が多数出てきていたので、とても嬉しく感じた。

以前南区に住んでいて、学習支援ボランティアをやっている中で、海外から来る子供たちが苦勞しているのを知った。このように子供たちの交流・助け合いを紹介してくれるのは大変嬉しいと感じた。

横浜の開港してからの歴史に多くの方は興味があり取り上げられているが、開港前の歴史も取上げ、横浜の素晴らしさを紹介する番組があっても良いと思う。

委員 「潮風音楽堂」という番組で施設（杉田劇場）を使ってもらっているがもっともっと活用してもらいたい。著名な方も使っていただいているが、地域に開かれた会場としてもっと利用して欲しい。

このような審議会の中を通して、お互い行って来いの関係を築き、フランクなお付き合いの中で一緒に出来るツールを作れないかを考えたい。

委員 テレビ等でダンスダンスの紹介はされているが、事後や過程などがあまり紹介されていないので J:COM で取り上げて良いのではないかな。

J:COM の番組でスポーツの番組は沢山あるが、音楽番組は非常に少ないと感じている。音楽は「演奏の場がない」「環境が整っていない」などあり、学生たちにとってはスタジオやホールでやれることは良い経験に繋がる。

また、神奈川県合唱協会の講評員を担当しているが、参加団数はとても多くその方たちは、10～15 分の演奏のために 1 年間頑張っている。テレビで練習風景や演奏の場を取り上げてくれるのを期待したい。

事業者 J:COM の番組はスポーツを取り上げるものが多いと思っている。文化的なものも今後取り上げて行きたいと思う。

吹奏楽は中学校や高校で活動している人が多いので、今まで何故出来なかったのか確認し、これから実施できるよう前向きに検討していきたい。

委員 J:COM の方は良く街へ出て行って取材していると感じている。

横浜は大きな都市だが、割とローカルな人と人との繋がりが密なところがある。

人との交流の中で結果だけを放映するだけではなく、何故そうなったのか、地域のローカル番組だからこそ追求できるのではないかと感じている。

先ほどストリートピアノの話もあったが、ピアノを置いたキッカケは伊勢崎町のサロンから始まっている。サロンの人たちの横顔を見せながら苦勞話を交え、ピアノを支えている人など、大きなニュースではないが、J:COM だからこそ見せられるモノが多くあると楽しく嬉しい。また、J:COM で知った人の顔が見られるのは大変面白い。

委員 文化部の中学・高校の事を取り上げてくれる事が少ない。中学校文化連盟、高等学校文化連盟では、吹奏楽や演劇などあるのでスポットを当てて欲しいと思う。

また、地域作業所やグループホームで野菜など扱っているので取材して欲しい。福祉に携わる人たちにとっては活力になるのではないかと思う。

地元横浜の情報は地元の人が見て親近感が沸きとても良いと思う。

委員 障がい者の現場をもっと撮影しても良いのではないかと感じている。

関内駅を中心として福祉の街づくりを始め「触る地図」をエリアで作った。普通は施設の中のモノだが街の中で利用できるように、横浜市と国土交通省からサポートをいただき作成した。これがキッカケで伊勢崎町のお祭りに車椅子神輿が必ず出る事になり、全国にもない例である。

このようなニュースの裏側を取材することはバリアフリーに繋がっていくのではないかと感じている。

事業者 仰るとおりニュースの裏側、ニュースの本質は何だろうに目を向けて取材することが大事であると考えている。このような目を持ち頑張って行きたいと思う。

委員 人に視点を置くことも面白く良い事だが、街も同じく表面だけでなく路地に目を向けると移り変わる横浜ではなく、戦前から続いているお店などあり、大変に面白いと思うので紹介して欲しい。

事業者 我々が扱っている映像は記録にもなっている、そしてしっかり記録として残していきたいと考えている。

◆広域番組について

委員 長年番組審議委員をやっていて、J:COMは日々進化していると感じている。また、機動力もすごく発揮されていると感じている。

メディアとしての社会的責任も発生してくると思うので慎重に進めて行って欲しい。

委員

以前に TVK の番組審議委員をやっていた時、TVK は音楽番組が多かったがスポンサーとの関係で少なくなってきた。

スポンサーの問題は難しいとは思いますが、J:COM で仕掛けを作ってみてはいかがか。

委員

ニューグランドで年 4 回「歌声サロン」を開催している、毎回 120～150 人の方が来られるが歌えない方が大半でそういう場所がないのだと感じた。

場所の提供だけでなく、テレビで音楽が流れそれを口ずさむだけでも大変効果があると思っている。

委員

横浜市歌にはブルースバージョンや盆踊りバージョンなど、色々なバージョンがあるので、横浜市歌に合わせて何か取材が出来ると面白いのではないか。

委員

エリアの中に音楽大学がある強みを活かせると良いと思う。

委員

音楽だけでなく文学もあり、横浜は文化発信と思っている。我々ももっともっと発信して行きたいと考えている。

委員

時間となりましたのでここで終了いたします。

今日は貴重なご意見ありがとうございました。今後も地域密着を期待しています。

以上